

北海道スキー指導者協会の歩み IV

藤 島 勝 雄 編著

昭和62年、文部省から出された「文部省認定社会体育指導者資格付与制度」は、指導員会の存続にも関わり議論されたが、田英夫日指会長の国会での文相への質問で一定の収束を見た。

ここで新たに出てきた問題が、栗林会長が提案した「指導員会と教育部とが一体化して、競技部から分離しSAJから独立しよう」とする「分離・独立問題」である。

20. 会員8,000名超える

<p>H 9 . 10 . 5</p>	<p>平成10年度 定期代議員会及び支部長会議 (68支部 7,940名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席代議員55名 (うち委任状23名) ・栗林会長挨拶 SAJの肥大化からはそれぞれの分野の機能を発揮することは不可能である。「分離」「独立」を考えている。 ・日本スキー指導者協会報告 田会長と小杉文相の「社会体育指導者制度」についての質疑応答以来、文部省からの圧力がなくなった。 ・規約改正 幹事→理事 会費値上げ 800円→1,000円 ・予算総額 7,206,575円 ・役員改選 顧 問 東野 靖信 会 長 栗林 薫 副 会 長 速水 潔、坂井 敏夫、毛利 修三、山中 浩、新田 利雄、 鈴木 忠芳、飯島 洋、太田 初子、大塚 博、原 栄 監 査 菊田 哲夫、大黒善太郎 理 事 長 近藤 晃 副理事長 菊地真一郎 <table border="1" data-bbox="409 1514 1392 1933"> <thead> <tr> <th>専門部</th> <th>部 長</th> <th>副部長</th> <th>部 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総 務</td> <td>福地 白</td> <td>宮越 登</td> <td>鈴木 清二、伊藤 和彦、中嶋 弘志、 桜井 文雄、佐藤 政之、阿部 一行、 芳賀 実</td> </tr> <tr> <td>事 業</td> <td>中川 明</td> <td>酒井 嘉春</td> <td>加藤 修治、中村啓二郎、平 誓子、 金子 重男、加藤 英二、逢坂 道夫、 立山 俊幸、谷口 幸治</td> </tr> <tr> <td>広 報</td> <td>竹内 恒夫</td> <td>田中 正美</td> <td>菊地 賢一、三澤 勝彦、畠山 皓、 小栗 宏、岩崎 洋隆、増岡 秀夫、 平岡日出夫</td> </tr> <tr> <td>会 計</td> <td>飯田 誠一</td> <td>串 力男</td> <td>阿部 恵一</td> </tr> </tbody> </table>	専門部	部 長	副部長	部 員	総 務	福地 白	宮越 登	鈴木 清二、伊藤 和彦、中嶋 弘志、 桜井 文雄、佐藤 政之、阿部 一行、 芳賀 実	事 業	中川 明	酒井 嘉春	加藤 修治、中村啓二郎、平 誓子、 金子 重男、加藤 英二、逢坂 道夫、 立山 俊幸、谷口 幸治	広 報	竹内 恒夫	田中 正美	菊地 賢一、三澤 勝彦、畠山 皓、 小栗 宏、岩崎 洋隆、増岡 秀夫、 平岡日出夫	会 計	飯田 誠一	串 力男	阿部 恵一
専門部	部 長	副部長	部 員																		
総 務	福地 白	宮越 登	鈴木 清二、伊藤 和彦、中嶋 弘志、 桜井 文雄、佐藤 政之、阿部 一行、 芳賀 実																		
事 業	中川 明	酒井 嘉春	加藤 修治、中村啓二郎、平 誓子、 金子 重男、加藤 英二、逢坂 道夫、 立山 俊幸、谷口 幸治																		
広 報	竹内 恒夫	田中 正美	菊地 賢一、三澤 勝彦、畠山 皓、 小栗 宏、岩崎 洋隆、増岡 秀夫、 平岡日出夫																		
会 計	飯田 誠一	串 力男	阿部 恵一																		
<p>H10. 3 . 15 朝里川温泉ス キー場</p>	<p>オーストリアスキー技術特別研修会 (参加者41名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 エゴン・ヒールツェッガー ・通訳 眞木香緒里 (オーストリア国家検定教師) 																				

H10.7.19 チサンホテル 浜松町	平成11年度 日本スキー指導員会 ・日本スキー指導員会を「日本スキー指導者協会」に名称変更 昭和14年の「指導者検定制度」の歴史を考え、指導員ではなく原点の名称を大事にし「指導者」とした。連盟への変更は、北海道が強く押したが他のブロックの同意が得られなく「協会」とした。
H10.9.4・5 ホテル黒部	第13回 北海道スキー指導者連盟の集い・98オホーツク圏北見大会(参加者150数名) ・講演 「スキーロボットが明らかにしたスキー回転の原理と実演」 福井大学教育学部教授 清水 史郎
H10.10.1	シュプール第26号(復刊第19号) ・巻頭言「われらOBが後輩に残す遺産」 会長 栗林 薫 ・特集〈カービングスキー〉 特別寄稿 オールラウンド・カービングスキーのすすめ 平沢 文雄 川瀬譲治、吉田幸一、我満嘉治など6本 ・研究・研修 12本 ・随想 13本 ・第12回 北海道スキー指導者連盟の集い・1997稚内大会 ・地区だより 2本 ・事務局より
H10.10.4 ホテルノース シティ	平成11年度 定期代議員会(70支部 8,184名) ・出席代議員64名(うち委任状39名) ・次年度「集い・滝川大会」を「指導者制度60周年記念」とし、講師に平沢文雄氏 ・予算総額:8,433,685円
H11.1.18	オーストリアスキー技術特別研修会中止決定
H11.5.24 雪印パーラー	第15回「スキー指導者の在り方を考える会」 ・出席者:栗林、小林、西野、速水、坂井、小山、近藤

21. 「分離・独立」問題

H11.7.18 チサンホテル 浜松町	平成12年度 日本スキー指導者協会総会 ・北海道からの提言「SAJ組織からの分離・独立について議論を深めよう」 この提言及び問題の経過は以下の通り。
「分離・独立」 問題について	○「分離・独立」問題についての顛末を抜き書きする。 1、平成8年6月、道指導員会幹事会での栗林会長発言、「指導員会と教育部とが一体化して、競技部から分離しSAJから独立しよう」に端を発した。 2、「北海道スキー指導者連盟幹事会・総会」及び「スキー指導者の在り方を考える会」の考え方は、 ① SAJは、財源である教育部をないがしろにしている。指導員会は「指導者制度50周年」の記念行事を実施したが、SAJは何の行事も持たなかった。 ② 「分離論」は、昭和39年にも当時のSAJ大熊教育本部部長が提案している。 ③ SAJ組織の肥大化によって、それぞれの機能が充分発揮されていない。 ④ 行政的に上意下達の傾向が強く、中央集権的になってしまう。 ⑤ 国際的な指導者組織との関連を考えるべきである。 ⑥ 雪国北海道としては、競技スキーヤーより一般スキーヤーの動向が大きく影響している。 ⑦ 毎年、準指合格者500名ずつ増えている。 等のことから、「指導員会」を「指導者連盟」と名称を変更し、SAJから分離・独立し別組織を作る。

考える会 メンバー	指導者連盟から栗林、速水、坂井、近藤 道連教育部から北河、小林、粕加屋、吉田、川瀬 教育部技術顧問から西野、琴坂、箕島、小山、大野、中林
--------------	--

3、「日本スキー指導員会常任幹事会・総会」及び「七者懇話会」での議論は、

① 名称問題

指導員を「指導者」とすることは、その歴史から見ても何ら問題は無い。しかし、「連盟」については、北海道の様に独立した組織でなく、スキー連盟内に事務局を置いている県（会報「インストラクター」の各県事務局参照）にとって「連盟」を称することは、「組織内組織」を作ることになる。従って、「日本スキー指導者協会」と改称。（H10.7.19日本スキー指導員会総会）

② 分離・独立問題の議論

- ・私たちは、あくまでもSAJの友好団体として発足以来の目的でいきたい。
- ・SAJの問題だから、SAJの評議員会に任せる。
- ・「指導者連盟」への改称や「分離・独立」への北海道の考えは理想的。しかし、これを持ち出したら割れる。
- ・北海道の様にはまとまっていない。
- ・トップ会談が必要

など、甲信越・東北・西日本・千葉から意見が述べられた。

これに対して、田日指会長がH11.7.19の日本スキー指導者協会総会で「北海道の提言を、宿題として勉強していこう」とまとめて結論とした。

七者会 メンバー	日本スキー指導員会から田会長、菅前会長、松浦元会長、 金井副会長、栗林副会長、 他から福岡孝純、平沢文雄
-------------	---

4、その後

- ① 田日指会長が、H11.6.26、「SAJ選手の健闘をたたえる会」の席上で、堤SAJ会長、丸山教育本部長に15分ほど「社会体育指導者制度問題」と「分離・独立の意見がある」ことを伝えた。
- ② 栗林会長が「分離・独立の問題は1年や2年で解決する問題ではない。10年を要するかもしれない。陽光が見えるまで頑張りたいと思っている」と発言。
- ③ 「スキー指導者の在り方を考える会」は、栗林道指会長が入院したこともあり、H12.1.15、「発展的解散」。
- ④ H11.9.26北海道スキー指導者連盟代議員会で、「分離・独立の強い表現は避けて、SAJの組織再編の推進の議論を深めていきたい」

※ H8年6月から始まった教育部・指導員会のSAJからの「分離・独立」問題は、決着をみた。七者会の議論経過を見ると「総論賛成、各論反対」であり、北海道と他都府県の指導員会の連盟内での立場の違いがこのような結果となった。この「温度差」は、日本スキー指導会の発足当時からあり、現在もまだ続いている問題である。

H11.9.5 松尾ジンギスカン本店	指導者制度60周年記念 第14回 北海道スキー指導者連盟の集い・1999滝川大会 (出席者230余名) ・功績者表彰：S32.2～40.3の準指取得者のなかで、表彰規定により各地区から表彰申請された者(32地区202名、うち出席者90名、平均67.3歳) ・記念講演「カービングスキーの効果的な使い方」 講師 平沢スキー研究所 平沢 文雄
-----------------------	---

H11.9.26 ホテルノース シティ	平成12年度 定期代議員会 (73加盟団体 8,244名) ・出席代議員61名 (うち委任状34名) ・日本スキー指導者協会報告 分離・独立問題が、初めて日本スキー指導者協会のテーブルに載り議論した。今後は、分離・独立の強い表現は避けて「SAJの組織再編の推進」の議論を深めていきたい。
---------------------------	--

- ・全道各指導員会の「連盟」への改称問題
各加盟団体の「連盟」への改称について強制はしない。要望である。
- ・規約改正 三役会議・加盟団体会長会議・特任理事（教育本部長）を規約に位置づける。
- ・予算総額：9,169,888円
- ・役員改選

顧問 東野 靖信、坂井 敏夫、新田 利雄
 会長 栗林 薫
 副会長 速水 潔、山中 浩、飯島 洋、毛利 修三、太田 初子、
 大塚 博、原 栄、鈴木 忠芳、中村啓二郎、小山 隆司
 監査 菊田 哲夫、大黒善太郎
 特任理事 小林 俊勝
 理事長 近藤 晃 副理事長 菊地真一郎

専門部	部長	副部長	部員
総務	福地 白	桜井 文雄	鈴木 清二、伊藤 和彦、中嶋 弘志、 坂本 侃、古川 英雄、藤島 勝雄、 中川 昌治
事業	中川 明	福島 英彦	平 誓子、金子 重男、加藤 英二、 逢坂 道夫、谷口 幸治、西田 孝、 阿部 一行、坂井 和夫
広報	竹内 恒夫	田中 正美	長縄 博、三澤 勝彦、畠山 皓、 平岡日出夫、岩崎 洋隆、武田 克宏、 加藤 修治、小栗 宏
会計	飯田 誠一	大住 啓助	阿部 恵一

※ 道連理事（H8年～11年）として「分離・独立」問題の最只中にいた私は、半分は期待し半分は無理だと思って推移を見ていた。一般指導員の方々は、あまりよく分からなかった半分、「連盟内連盟」を作ることへの反発半分、でなかったらどうか。

強制はしないと言いながら、きつい「指導者連盟」への改称要請にもかかわらず、名称変更した各地区指導員会が過半数に達していないことから伺われる

※ この年、道連理事が終わってほっと一息した時、栗林会長から声がかかり指導員会理事となり最初の疑問は、理事推薦基準の「ブロック」と「方面」は矛盾する、ということであった。「私は、千歳線方面、日高方面、室蘭方面、どの方面から選出されたか」。この質問は、理事会では相手にされなかった。この後も私の疑問は続く。

「副会長の多さは？」「引当金とは？」「日指への役員の多さは？」「今年のシュプールに去年の役員名簿が載るのは？」「メイン行事の“集い”が何故中止になる？」「教育本部と連携、といいながら幹部に会ったことがない？」等々。

これらの不合理は、規約の全面改正まで暫く続く。

22. 栗林会長辞任、後任問題もめる

H11.10.1	シュプール第27号（復刊第20号） <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言「大転機を迎えるスキー界に思う」 ・研究・研修 11本 ・随想 12本 ・第13回北海道スキー指導者連盟の集い・1998北見大会 ・事務局シリーズ 	会長 栗林 薫
----------	--	---------

H12.4.15 キロロスキー場	<p>第1回 SIJ（日本スキー指導者協会）カップキロロフェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツアー参加者：東京、神奈川、330余名。 ・選手出場：150余名（うち北海道27名） <p>※ 日本スキー指導者協会として初めての雪上での行事である。関東方面から「北海道スキーツアー」のついでに、半分位の指導員のポールへの挑戦であった。腕の覚えの北海道の出場選手が、優勝者・入賞者が多数輩出したのは当然であろう。しかし、親睦大会としての大きな役割を果たした第1回大会であった。</p>
H12.6.25 白金四季の森 ホテルパーク ヒルズ	<p>第15回 北海道スキー指導者連盟・2000美瑛大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長挨拶：速見潔会長代行（栗林会長入院中につき、H12.2.28常任理事会で決定） ・講演：「国際的視野でのスノースポーツの現況について」 日本職業スキー教師協会 会長 杉 山 進
H12.9.24 ホテルノース シティ	<p>平成13年度 定期代議員会及び加盟団体会長会議（73加盟団体 8,321名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席代議員55名（うち委任状36名） ・次年度予算：9,768,545円
同 上	<p>加盟団体会長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規約に則り第1回を開催し、組織上の問題点などの情報交換をした。
H12.10.1	<p>シュプール第28号（復刊21号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言「スキー離れに思う」 会長代行 速水 潔 ・論評・研究 4本 ・随想 12本 ・表彰受賞者随想 10本 ・報告A（ベテラン指導員研修会） 5本 ・報告B（第1回SIJカップキロロ大会） 5本 ・指導員制度60周年記念 第14回北海道スキー指導者連盟の集い・1999滝川大会 ・第1回 SIJカップフェスティバル キロロ ・事務局だより
H12.11.26 雪印パーラー	<p>第1回 理事会（出席者 30名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗林会長の体調不良による任期途中の「会長職辞意」を受け新会長選任の審議。 ・栗林会長は、北河道連副会長（前教育本部長）を後任に推薦 ・北河会長案に対し、「この会に一度も出席していない」「先の社会体育指導者制度を道連教育本部長として推し進めたことで、制度反対の田日指会長との関係への考慮」などで難色を示す理事が多く、会長代行業を務めた速水副会長を推す意見多数。 ・速水副会長は、「会長代行もなんら評価されず、本連盟に幻滅を感じ辞退する」と発言する場面があった。 ・理事会としての結論が出ず、臨時代議員会に「理事会では、お二人の名前が出て速水副会長を推す声が多かった」と報告し臨時代議員会の決に委ねる。
同 上	<p>臨時代議員会〈会長選任会議〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席代議員19名、委任状37名 ・理事会の意向を踏まえ、北河道連副会長か速水副会長か議論百出 ・代議員の挙手採決の結果、 速水12、北河6、棄権1、速水副会長を残留期間の会長と決定する。
H13.3.2～4 朝里川温泉ス キー場	<p>第26回 ベテラン指導員特別研修会朝里会場（参加者 30名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンネス・シュナイダー「狐狩り」上映 ・第21回以来のタイム差レース実施
H13.4.15 キロロスキー場	<p>第2回 SIJカップキロロフェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツアー参加者 東京、神奈川から320名（選手出場157名 北海道29名） ・今回も、北海道からの選手の優勝・入賞者多数。

23. 集い・札幌大会中止

<p>H13.6.16 雪印パーラー</p>	<p>第2回 理事会 ・第16回北海道スキー指導者連盟の集い・札幌大会の開催について 札幌スキー指導員会連絡協議会の「札幌大会は開催出来ない」との回答の意を受け中止の決定。</p>																
<p>H13.8.5 チサンホテル 浜松町</p>	<p>平成14年度 日本スキー指導者協会総会 ・役員改選：会長 田 英夫 (留任) ・北海道関係 (いずれも留任) 名誉顧問 栗林 薫 副会長 速水 潔 常任幹事 近藤 晃、菊地真一郎 幹事 福地 白、飯田 誠一</p>																
<p>H13.9.30 ホテルノース シティ</p>	<p>平成14年度 定期代議員会及び加盟団体会長会議 (73加盟団体 8,147名) ・出席代議員63名 (うち委任状38名) ・予算総額：10,839,071円 ・役員改選 名誉会長 栗林 薫 顧問 東野 靖信、新田 利雄、坂井 敏夫 (H13.11.9 理事会で副会長に) 会長 速水 潔 副会長 山中 浩、飯島 洋、毛利 修三、大塚 博、原 栄 鈴木 忠芳、中村啓二郎、北河 茂、近藤 晃 監査 大黒善太郎、小栗 宏 特任理事 小林 俊勝 理事長 福地 白 副理事長 喜沢 一史</p> <table border="1" data-bbox="344 1084 1338 1464"> <thead> <tr> <th>専門部</th> <th>部長</th> <th>副部長</th> <th>部員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務</td> <td>藤島 勝雄</td> <td>古川 英雄</td> <td>伊藤 和彦、坂口 和雄、渡邊 恒男、長縄 博、吉田 英一、西田 孝、谷口 幸治</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>坂井 和夫</td> <td>加藤 英二</td> <td>野坂晃次郎、土谷 俊介、大井 浩誌、逢坂 道夫、内藤 彰、米澤 留吉、阿部 一行、富田 忠雄</td> </tr> <tr> <td>広報</td> <td>竹内 恒夫</td> <td>田中 正美</td> <td>中嶋 弘志、畠山 皓、佐藤 秀志、大澤 隆司、武田 克宏、杉山 重之、平岡日出夫</td> </tr> </tbody> </table>	専門部	部長	副部長	部員	総務	藤島 勝雄	古川 英雄	伊藤 和彦、坂口 和雄、渡邊 恒男、長縄 博、吉田 英一、西田 孝、谷口 幸治	事業	坂井 和夫	加藤 英二	野坂晃次郎、土谷 俊介、大井 浩誌、逢坂 道夫、内藤 彰、米澤 留吉、阿部 一行、富田 忠雄	広報	竹内 恒夫	田中 正美	中嶋 弘志、畠山 皓、佐藤 秀志、大澤 隆司、武田 克宏、杉山 重之、平岡日出夫
専門部	部長	副部長	部員														
総務	藤島 勝雄	古川 英雄	伊藤 和彦、坂口 和雄、渡邊 恒男、長縄 博、吉田 英一、西田 孝、谷口 幸治														
事業	坂井 和夫	加藤 英二	野坂晃次郎、土谷 俊介、大井 浩誌、逢坂 道夫、内藤 彰、米澤 留吉、阿部 一行、富田 忠雄														
広報	竹内 恒夫	田中 正美	中嶋 弘志、畠山 皓、佐藤 秀志、大澤 隆司、武田 克宏、杉山 重之、平岡日出夫														
<p>同上 (午後)</p>	<p>加盟団体会長会議 ・各団体の実情及び情報交換</p>																
<p>H13.10.1</p>	<p>シュプール第29号 (復刊22号) ・巻頭エッセイ「スキー離れに想う (2)」 会長 速水 潔 ・論評・研究 4本 ・随想 13本 ・キロロ大会 5本 ・第15回 北海道スキー指導者連盟の集い・2000美瑛大会 ・第2回 SIJカップフェスティバル キロロ ・事務局シリーズ</p>																
<p>H14.4.13 ニセコ東山</p>	<p>第3回 SIJカップニセコ東山フェスティバル ・出場選手 130名 (北海道48名)</p>																
<p>H14.7.6 雪印パーラー</p>	<p>三役会 ・速水潔会長、体調不良のため辞意を表明 ・坂井敏夫副会長、残任期間を会長代行</p>																

H14.8.15 チサンホテル 浜松町	平成15年度 日本スキー指導者協会 ・ゴルフ大会 (毎年継続開催) ・SIJカップキロロ大会実施 ・次回SIJカップは、ニセコ東山にて開催予定
H14.9.1 名寄温泉サン ピラーホテル	第16回 北海道スキー指導者連盟の集い〈2002名寄大会〉 ・講演「北海道の山から世界最高峰へ」 女性アルピニスト 高橋 留智亜 (2000年春、日本女性として4人目に世界最高峰エベレスト登頂を果たした)
H14.9.28 ホテルノース シティ	平成15年度 定期代議員会及び加盟団体会長会議 (73加盟団体 7,943名) ・出席代議員72名 (うち委任状36名) ・予算総額 11,924,042円 ・会長人事 速水会長の辞意を承認し、この代議員会で会長を選任する。 現在会長代行の坂井敏夫副会長を会長に選任。 ・予算総額：11,924,042円 ※ 栗林前会長に続いての任期途中での会長辞任である。速水会長の後任を誰にするか、会長代行か、会長か、で相当の議論があった。 ※ この年は、昭和27年10月に「北海道一般スキー指導員会」として、全国に先駆けて発足して50年になった。が、会長人事のごたごたなどで記念事業等は何ら行わなかった。
同 上	加盟団体会長会議 ・各団体の実情及び情報交換
H14.10.1	シュプール第30号 (記念特集号 この号から“復刊”を取る) ・巻頭エッセイ「シュプール第30号発刊に想う」 会長 速水 潔 (会長は既に印刷済み) ・記念号として、過去の集い・式典の写真を特集した ・記念号として、表紙の色を青、広告掲載を復活させた。 ・論評・研究 4本 ・随想 20本 ・SIJカップ・特研報告 8本 ・第3回 第3回SIJフェスティバル 東山 ・事務局便り
H14.11.8 スクワール麴 町 (東京)	日本スキー指導者協会創立20周年記念式典及び祝賀会 ・功労者表彰 (北海道関係) 故柴田信一、中川伊佐美、栗林 薫、速水 潔、近藤 晃、飯田誠一、福地 白
H15.4.13 ニセコ東山	第4回 SIJカップ東山フェスティバル ・参加者 132名 (北海道60名) ・悪天候のためGSレースは中止。閉会式・懇親会で協賛商社提供品の抽選会
H15.8.2 チサンホテル 浜松町	平成16年度 日本スキー指導者協会総会 ・SIJカップニセコ東山大会は、濃霧でGSレースが中止 ・インタースキースイス・クランモンタナ大会報告 ・役員改選 (本連盟関係) 名誉顧問：栗林薫 副会長：坂井敏夫、近藤晃、 常任幹事：福地白 幹事：飯田誠一、喜澤一史
H15.8.30 グリーンホテ ル札幌	第17回 北海道スキー指導者連盟の集い・2003札幌大会 ・歓迎挨拶：北海道自衛隊スキー指導員会 会長 粕加屋 實 ・講演「夢への挑戦」 元スピードスケート日本代表 堀井 学 (世界大会優勝27回、世界記録4回、日本記録4回)

24. 坂井敏夫会長就任

<p>H15.9.28 ホテルノース シティ</p>	<p>平成16年度 定期代議員会及び加盟団体会長会議（73加盟団体 8,004名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席代議員73名（うち委任状34名） ・規約改正 理事推薦ブロックが「方面」などの多くの不合理条項を整備 ・予算総額 12,213,819円 ・「特別会計」の設定 H15.6.24速水前会長が逝去され、ご遺族から本会への寄付（10万円）を元に、広告代金を含めて特別会計を設定し今後の備えとした。 ・役員改選 名誉会長 栗林 薫 顧問 東野 靖信、新田 利雄 会長 坂井 敏夫 副会長 山中 浩、飯島 洋、毛利 修三、大塚 博、原 栄、鈴木 忠芳、中村啓二郎、近藤 晃、畠山 皓、坂井 和夫、富田 忠雄 監査 大黒善太郎、小栗 宏 特任理事 吉田 英一 理事長 福地 白 副理事長 喜沢 一史、佐藤 秀志 <table border="1" data-bbox="347 913 1338 1339"> <thead> <tr> <th>専門部</th> <th>部長</th> <th>副部長</th> <th>部員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務</td> <td>藤島 勝雄</td> <td>古川 英雄</td> <td>伊藤 和彦、坂口 和夫、渡邊 恒男、谷口 幸治、伊藤 博</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>加藤 英二</td> <td>逢坂 道夫</td> <td>野坂晃次郎、大井 浩誌、西田 孝、阿部 一行、平賀 秀勝、玉田 進、山田 和広</td> </tr> <tr> <td>広報</td> <td>竹内 恒夫</td> <td>田中 正美</td> <td>中嶋 弘志、大澤 隆司、佐藤 眞、二ッ谷 正、杉山 重之、三浦 光男、登山 一成、畑 隆雄</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>飯田 誠一</td> <td>阿部 恵一</td> <td>井上 光男</td> </tr> </tbody> </table>	専門部	部長	副部長	部員	総務	藤島 勝雄	古川 英雄	伊藤 和彦、坂口 和夫、渡邊 恒男、谷口 幸治、伊藤 博	事業	加藤 英二	逢坂 道夫	野坂晃次郎、大井 浩誌、西田 孝、阿部 一行、平賀 秀勝、玉田 進、山田 和広	広報	竹内 恒夫	田中 正美	中嶋 弘志、大澤 隆司、佐藤 眞、二ッ谷 正、杉山 重之、三浦 光男、登山 一成、畑 隆雄	会計	飯田 誠一	阿部 恵一	井上 光男
専門部	部長	副部長	部員																		
総務	藤島 勝雄	古川 英雄	伊藤 和彦、坂口 和夫、渡邊 恒男、谷口 幸治、伊藤 博																		
事業	加藤 英二	逢坂 道夫	野坂晃次郎、大井 浩誌、西田 孝、阿部 一行、平賀 秀勝、玉田 進、山田 和広																		
広報	竹内 恒夫	田中 正美	中嶋 弘志、大澤 隆司、佐藤 眞、二ッ谷 正、杉山 重之、三浦 光男、登山 一成、畑 隆雄																		
会計	飯田 誠一	阿部 恵一	井上 光男																		
<p>同上</p>	<p>※ 日本スキー指導者協会の役員になっても、日本スキー指導者協会から会議出席の旅費が支給されるわけではない。6名の旅費は総て本会からの出費である。</p>																				
<p>同上</p>	<p>加盟団体会長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂井会長挨拶：「連盟」と変えて数年経過しているが加盟団体で旧来通りのところも多い。今後、議論のうへ「名称変更検討」の考えを持っている。 ・各加盟団体の実状・情報交換 																				
<p>H15.10.1</p>	<p>シュプール第31号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭エッセイ「スキー指導者の心意気と風格 ー第6代会長となつてー」 会長 坂井 敏夫 ・〈追悼〉速水潔前会長を偲んで 事務局（追悼特集）ほか6名 ・研究・研修 6本 ・紹介・随想 16本 ・第16回北海道スキー指導者協会の集い・2002名寄大会 ・第4回 SIJカップフェスティバル東山 ・事務局便り 																				
<p>H16.4.20 ルスツ</p>	<p>第5回 SIJカップ ルスツフェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：69名 うち北海道31名 																				

H16.7.31 チサンホテル 浜松町	平成17年度 日本スキー指導者協会総会 ・SIJキロロカップ報告 ・次回SIJカップは、キロロスキー場（17.4.10）にて開催予定
H16.8.28 東山プリンス ホテル	指導者制度65周年記念 第18回北海道スキー指導者連盟の集い・2004ニセコ大会 ・功績者表彰：各団体から推薦のあった受賞者319名 うち37名出席 ・特別講演「スキー指導員の今昔」 会長 坂井 敏夫 ・記念講演「幻の雪を求めて」 北海道大学名誉教授 藤野 和雄 (元北大低温科学研究所長)
H16.9.26 ホテルノース シティ	平成17年度 定期代議員会及び加盟団体会長会議（73加盟団体 7,859名） ・出席代議員51名（うち委任状27名） ・「連盟」の名称について、ベストなのか検討していく ・会費長期未納団体に対する扱い ・本連盟の新事業として、喜澤副理事長を中心に「ホームページ」の開設を承認 ・副会長の人数が多いとの意見多数 ・予算 一般会計13,043,533円、特別会計1,277,000円
同 上	加盟団体会長会議 ・坂井会長挨拶：メリットが無いからと会を辞める指導員が多くなってきているが、メリットは会が作るものでなく自らが作り出すものである。 ・慶弔規定を中心に、各団体の実情・情報交換を行った。
H16.10.1	シュプール第32号 ・巻頭エッセイ「スキー人口下降の一面を考えて」 会長 坂井 敏夫 ・追悼〈速水・源吉・フルキンさん〉 ・地域紹介 3本 ・研究 1本 ・特別寄稿 2本 ・随想 11本 ・第17回北海道スキー指導者協会の集い・2003札幌大会 ・第5回 SIJカップフェスティバル ルスツ ・事務局便り
H17.1.29 ホテルノース シティ	第1回 特別検討委員会 ・坂井会長挨拶 通常の会議では出来ない突っ込んだ議論が必要である。 ・意見及び議論 「引当金は問題」「集いは札幌を4つに分け、19回大会は札幌で開催」「会費の還付は」「協会への名称変更を進める」「副会長は若干名が10名はおかしい」 これらの意見・決定を理事会・代議員会に諮る。
H17.4.10 キロロ	第6回 SIJカップフェスティバル キロロ ・参加選手 59名
H17.8.7 チサンホテル 浜松町	平成18年度 日本スキー指導者協会総会 ・SIJキロロカップ大会報告 ・西日本ブロック脱退届け ・役員改選（本連盟分） 顧問：毛利修三 副会長：坂井敏夫 常任理事：福地白（後に理事長交代により藤島勝雄と交代） 幹事：喜澤一史

25. 「北海道スキー指導者協会」に改称

<p>H17. 9. 25 ホテルノース シティ</p>	<p>平成18年度 北海道スキー指導者連盟総会及び加盟団体会長会議 (70加盟団体 7,390名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席代議員61名 (うち委任状24名) ・規約改正 <ul style="list-style-type: none"> ① 北海道スキー指導者連盟→「北海道スキー指導者協会」に名称を変更 各加盟団体の名称がそのままなら問題ない。 ② 実質会費一人当たり900円とする ③ 専門部の「会計部」を廃止し、その業務は総務部とし副総務部長が担当する ・「集い・札幌大会」中止。次年度「札幌」で開催予定 ・予算額 一般会計13,769,236円、特別会計2,859,020円 ・役員改選 <ul style="list-style-type: none"> 顧問 毛利 修三、大塚 博、原 栄、鈴木 忠芳、近藤 晃、 富田 忠雄、福地 白 会長 坂井 敏夫 副会長 中村啓二郎、畠山 皓、坂井 和夫、坂口 一弘 監査 大黒善太郎、小栗 宏 特任理事 吉田 英一 理事長 藤島 勝雄 副理事長 西田 孝、喜沢 一史 																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>専門部</th> <th>部長</th> <th>副部長</th> <th>部員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務</td> <td>佐藤 秀志</td> <td>古川 英雄 安田 豊重</td> <td>伊藤 和彦、坂口 和夫、渡邊 恒男、 高木 昌敏、登山 一成、輪島 祥司、 松原 信勝、江戸 邦子、井上 光男、 樫 満雄、増田 益男</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>加藤 英二</td> <td>山田 和広</td> <td>阿部 一行、平賀 秀勝、久井 忠篤、 北川 敏昭、野坂晃次郎</td> </tr> <tr> <td>広報</td> <td>竹内 恒夫</td> <td>大澤 隆司</td> <td>中嶋 弘志、杉山 重之、三浦 光男、 玉田 進、田中 正美、早川志津雄</td> </tr> </tbody> </table>	専門部	部長	副部長	部員	総務	佐藤 秀志	古川 英雄 安田 豊重	伊藤 和彦、坂口 和夫、渡邊 恒男、 高木 昌敏、登山 一成、輪島 祥司、 松原 信勝、江戸 邦子、井上 光男、 樫 満雄、増田 益男	事業	加藤 英二	山田 和広	阿部 一行、平賀 秀勝、久井 忠篤、 北川 敏昭、野坂晃次郎	広報	竹内 恒夫	大澤 隆司	中嶋 弘志、杉山 重之、三浦 光男、 玉田 進、田中 正美、早川志津雄
専門部	部長	副部長	部員														
総務	佐藤 秀志	古川 英雄 安田 豊重	伊藤 和彦、坂口 和夫、渡邊 恒男、 高木 昌敏、登山 一成、輪島 祥司、 松原 信勝、江戸 邦子、井上 光男、 樫 満雄、増田 益男														
事業	加藤 英二	山田 和広	阿部 一行、平賀 秀勝、久井 忠篤、 北川 敏昭、野坂晃次郎														
広報	竹内 恒夫	大澤 隆司	中嶋 弘志、杉山 重之、三浦 光男、 玉田 進、田中 正美、早川志津雄														
	<p>※ 加盟団体数や会員数が、H12. 9の73団体、8,321名をピークに減少してきている。 これは、「指導員会→連盟」への改称、「会長人事問題」、「各団体の任意登録」が影響していると思われる。また、「入会のメリットが無い」と思われていることも大きな要因かと思われるが、H16. 9. 26の加盟団体会長会議で坂井会長が「メリットは会が作るものではなく、自分自身が作るもの」と答えている。</p> <p>※ 会員数の減少にもかかわらず予算が多くなっているのは、引当金名目の繰越金が多いことと、未納金の納入を見込んでのことである。</p> <p>※ 「名称」「副会長」等、多くの懸案事項が整備され新理事会体制に変わった代議員会であった。また、後日の理事会で「互選」していた理事長を、当日、新理事も召集しての「新理事会」で決定した。しかし、問題はまだ山積みであり、次回代議員会で提案することになる。</p>																
<p>同上</p>	<p>加盟団体会長会議 ・各会長から、本協会の事業「集い開催」「シュプール発刊」等についての意見や要望をきき、今後の事業の展開に役立てる。</p>																
<p>H17.10. 1</p>	<p>シュプール第33号 ・巻頭エッセイ「i/f ゆらぎ感得をスキーで挑戦」 会長 坂井 敏夫 ・〈追悼特集〉栗林薫元会長を偲んで 広報部他3本</p>																

	<ul style="list-style-type: none"> ・研究・研修 7本 ・随想 10本 ・平成17年度 指導員・準指導員検定合格者の氏名掲載（今回初めて掲載） ・第18回 北海道スキー指導者協会の集い・2004ニセコ大会 ・第6回 SIJカップフェスティバル キロロ ・事務局便り
H17.12.18	日本スキー指導者協会から「H18.4、キロロで開催予定のSIJカップは中止」連絡
H18.5.15	<p>本協会ホームページ開設</p> <p>※ H16.9.26の代議員会で承認された後、担当者の都合で大幅に遅れた上に古い資料掲載など、不本意な開設ではあったが兎も角スタートした。現在は、月々各種スキー界の情報を提供するなど順調に発信し続けている。〈http://saih.jp/〉</p>
H18.7.23 ホテルノース シテイ	<p>第19回 北海道スキー指導者協会の集い・2006札幌大会</p> <p>・講演「ワールドカップのスキー技術」 元SAJナショナルチーム 木村 公宣 「技術選に見るこれからのスキー技術」 SAJデモンストレーター 我満 嘉治</p> <p>・パネルディスカッション</p>
H18.7.30 チサンホテル 浜松町	<p>平成19年度 日本スキー指導者協会総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本ブロック大会経過説明 ・SIJキロロカップ中止 ・決算額：2,950,988円 ・SAJスキー大学（朝里）参加ツアー ・次回SIJカップは八方尾根スキー場 ・インタースキー（韓国）参加ツアー

26. 「集いローテーション表」承認

H18.9.24 ホテルノース シテイ	<p>平成19年度 定期代議員会及び加盟団体会長会議（67加盟団体 6,534名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席57名（委任状含む） ・「代議員会議案書」を事前に、の要望があり次年度から実施 ・加盟団体への活動助成金（1万円）を予算化 ・理事空白ブロックであった、北空知から檜満雄、南空知から益田益男を承認 ・認定指導員合格者にもシュプール贈呈 ・規約一部改正 <ul style="list-style-type: none"> ① 「監査」→「監事」に変更 ② 三役会議の構成員のうち「監事」を外し「理事長」を入れる ③ 「役員選考委員会」を設置 ・引当金方式をやめ、繰越金508万円のうち300万円を特別会計に繰り入れる ・予算 一般会計8,879,530円、特別会計4,462,026円 引当金として繰り越していた不合理を解消するため、300万円を特別会計に繰入れた。 ・提案 「集い」の開催を確実にし、主管団体の活性化を図るため「集い開催地ローテーション表」が承認される。
---------------------------	--

	ブロック	担当年度		加盟団体
第1	札幌	2006		中央、東、西、南、北、白石、豊平、厚別、手稲、清田
	石狩		2011	当別、江別、千歳、恵庭、北広島、石狩
	自衛隊		2016	北海道自衛隊
第2	渡島・檜山	2007		函館
	後志		2012	ニセコ、岩内、余市、小樽、積丹、仁木
	胆振・日高		2017	室蘭、登別、虻田、伊達、豊浦、苫小牧、日高
第3	網走	2008		北見市、北見地区、網走、遠軽地方、紋別、遠軽
	道東		2013	釧路、根室
第4	旭川	2009		旭川
	道北		2014	名寄、稚内、美深、士別
	留萌		2018	留萌、羽幌、増毛、苫前、初山別、天塩
第5	上川	2010		富良野、上富良野、美瑛、占冠
	北空知		2015	滝川、赤平、芦別、上砂川、新十津川
	南空知		2019	美唄、三笠、夕張、追分、奈井江、栗山、長沼、由仁

※ 1、ブロック内の加盟団体間で担当する順序、或いは合同開催かを決める。

※ 2、各加盟団体の周年事業は考慮する。

※ 今までは、「来年は何処に」とか「何となくご好意」で引き受けてもらっていた「集い」の開催地は、引き受け地が無い年があった（過去2回）。ローテーションを決めることで、準備がしやすくなり、その準備段階・開催によって実行団体の活性化を期待してのローテーション表の作成であった。

同 上

加盟団体会長会議

・本協会規約の「表彰規定」に意見を出し合い、“本協会に尽力”を広く解釈する。

H18.10.1

シュプール第34号

・巻頭エッセイ「意識改革の理由はどの辺にあるか」

会長 坂井 敏夫

・〈追悼〉山中浩前副会長

・研究・研修 4本

・回顧・随想 6本

・随想（検定）7本

・平成18年度 準指・指導員合格者氏名

・第19回 北海道スキー指導者協会の集い・2006札幌大会

・事務局だより

※ この年から、長年懸案であった「会議報告・役員名簿等を、その年のシュプールに載せる」が果たされた。従って、この号には「代議員会報告」が2年分掲載されることとなった。

H19.2.22

ノルディック世界選手権札幌大会応援

札幌ドーム

※ やっと誘致した札幌大会の観客の少なさが新聞報道され、急遽、坂井会長提案で本協会会員30余名が札幌ドームでの開会式・スプリント競技を応援した。夏目円選手が初めて5位入賞を果たした場面に出会って大感激の大会応援であった。

H19.7.21 ホテルルポール 麹町	平成20年度 日本スキー指導者協会総会 ・第8回SIJカップ白馬(19.4.8) 55名参加 ・決算額 2,790,833円 ・次回SIJカップは八方尾根スキー場開催予定 ・役員改選(本協会関係) 顧問:毛利修三、近藤 晃 副会長:坂井敏夫 常任幹事:藤島勝雄 幹事:中村啓二郎
H19.7.28 花びしホテル (函館)	第20回 北海道スキー指導者協会の集い・2007函館大会 ・講演「スキースポーツ復興のために私たちができること」 SAJデモンストレーターコーチ 我満 嘉治 ・対談「道南が生んだスーパースター佐々木明を語る」 コーディネーター 我満 嘉治、 地元後援会副会長 花巻 昭英 ニヤマJrレーシングコーチ 松本 俊 佐々木明の母 佐々木満智子

27. 懸案事項解消へ

H19.9.9 ホテルノース シティ	平成20年度 定期代議員会及び加盟団体会長会議(65加盟団体 5,962名) ・出席代議員48名(委任状含む) ・要望事項 「会費長期未納団体への対応」「会員名簿書式の作成」「助成金の使途」 ・次年度集いは、網走・北見地区が担当 ・世界ノルディックスキー選手権札幌大会事務局へ特別会計から20万円 ・予算 一般会計6,803,258円、特別会計4,311,063円 ・役員改選 顧問 毛利 修三、鈴木 忠芳、近藤 晃、福地 白、小林 俊勝 会長 坂井 敏夫 副会長 中村啓二郎、坂井 和夫、坂口 一弘、加藤 英二 監事 大黒善太郎、小栗 宏 特任理事 吉田 英一 理事長 藤島 勝雄 副理事長 西田 孝、三浦 光男																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>専門部</th> <th>部長</th> <th>副部長</th> <th>部 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務</td> <td>佐藤 秀志</td> <td>古川 英雄 安田 豊重</td> <td>伊藤 和彦、渡邊 恒男、高木 昌敏、 登山 一成、井上 光男、大谷 清人、 大山 忠嗣</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>玉田 進</td> <td>大澤 隆司</td> <td>平賀 秀勝、輪島 祥司、杉山 重之、 早川志津雄、高岡 正治、佐藤 信一、 松木 謙一、野坂晃次郎、塩内 忠</td> </tr> <tr> <td>広報</td> <td>中田 章</td> <td>山田 和広</td> <td>樫 満雄、久井 忠篤、北川 敏昭、 宮本 義夫、大山口 博、中村 昇太、 金羽 秀</td> </tr> </tbody> </table>	専門部	部長	副部長	部 員	総務	佐藤 秀志	古川 英雄 安田 豊重	伊藤 和彦、渡邊 恒男、高木 昌敏、 登山 一成、井上 光男、大谷 清人、 大山 忠嗣	事業	玉田 進	大澤 隆司	平賀 秀勝、輪島 祥司、杉山 重之、 早川志津雄、高岡 正治、佐藤 信一、 松木 謙一、野坂晃次郎、塩内 忠	広報	中田 章	山田 和広	樫 満雄、久井 忠篤、北川 敏昭、 宮本 義夫、大山口 博、中村 昇太、 金羽 秀
専門部	部長	副部長	部 員														
総務	佐藤 秀志	古川 英雄 安田 豊重	伊藤 和彦、渡邊 恒男、高木 昌敏、 登山 一成、井上 光男、大谷 清人、 大山 忠嗣														
事業	玉田 進	大澤 隆司	平賀 秀勝、輪島 祥司、杉山 重之、 早川志津雄、高岡 正治、佐藤 信一、 松木 謙一、野坂晃次郎、塩内 忠														
広報	中田 章	山田 和広	樫 満雄、久井 忠篤、北川 敏昭、 宮本 義夫、大山口 博、中村 昇太、 金羽 秀														
	※ 加盟団体、会員のニーズの応える道協会でありたいと考え、前回要望の「議案書を早く各加盟団体へ」を実施した。当たり前のことを当たり前に実施できる組織でありたいと思う。																
同上	加盟団体会長会議 ・本協会の「慶弔規程」の各加盟団体の取扱について情報交換																
H19.10.1	シュプール第35号 ・巻頭エッセイ「世界ノルディック選手権大会に思う」 会長 坂井 敏夫 ・追想「畠山 皓」 ・主張・研究 2本																

	<ul style="list-style-type: none"> ・地区紹介 2本 ・随想 16本 ・2007年度準指・認定・指導員検定合格者 ・特集：学校体育「スキー授業」の支援（ボランティア）事業 ・第20回北海道スキー指導者協会・2007函館大会 ・事務局だより
H20.7.20 ホテル黒部 (北見)	第21回 北海道スキー指導者協会の集い・2008網走ブロック大会（参加者133名） <ul style="list-style-type: none"> ・お祝いの言葉 日本スキー指導者協会名誉会長 菅 秀文 ・講演「スキー指導の課題と活性化」全日本スキー連盟 教育本部長 平川 仁彦 ・グレステンスキー見学
H20.7.27 ホテルルポール 麴町	平成21年度 日本スキー指導者協会総会 <ul style="list-style-type: none"> ・会報「インストラクター第23号」発行（25,000部） ・SIJカップ白馬大会（20.4.13）81名参加 ・決算額 2,600,051円 ・次回SIJカップはルスツ（21.3.28）で開催予定
H20.9.14 ホテルノース シティ	平成21年度 定期代議員会及び加盟団体会長会議（60加盟団体 5,572名） <ul style="list-style-type: none"> ・出席代議員48名（委任状を含む） ・代議員の要望により、今年度から代議員会議案書に「助成金事業報告」を記載 ・次年度「指導者制度制定70周年記念事業」を旭川で「集い」と併催 ・予算 一般会計6,495,515円 特別会計4,451,868円
同 上	加盟団体会長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・「指導者制度制定70周年」をどう祝うか。 ・指導員会活動の活性化を図るにはどうしたらよいか。
H20.10.1	シュプール第36号 <ul style="list-style-type: none"> ・A4版 緑色表紙 ・巻頭エッセイ「『近代五輪』アテネから中国北京までの大きな変革について」 会長 坂井 敏夫 ・特集「井山デモ技術選2連覇祝賀会」 ・主張・研究・報告 4本 ・地区紹介 2本 ・随想 14本 ・2008年度準指・認定・指導員検定合格者 ・「北海道スキー指導者協会の歩み I」 ・第21回 北海道スキー指導者協会の集い2008網走ブロック大会 ・事務局だより <p>※ 広報担当者が交代して2年目、「品格と格調を重んじ、内容の充実を図ることを心がけ（編集後記）」本格的な変革に取り組んだ。①印刷会社を入札によって決めた。②文字を大きくしA4版とした。③表紙を伝統のグリーンに戻した。④60年になんなんとする本協会の歴史に初めてに取り組んだ第36号であった。</p>
H21.2.15	SIJカップルスツ大会（H21.3.28開催予定）中止連絡

28. 指導者制度制定70周年

H21.7.4 旭川ターミナル ホテル	第22回 北海道スキー指導者協会の集い スキー指導者制度制定70周年記念・2009旭川大会（参加者113名） <ul style="list-style-type: none"> ・制度制定70周年記念表彰式 受賞者総数358名のうち47名出席 ・記念講演 「生きがい」～75歳エベレストへの挑戦～ —高齢化社会におけるチャレンジと夢— 冒険家 三浦雄一郎
---------------------------	---

<p>H21.7.26 ホテルスク ワール麴町</p>	<p>平成22年度 日本スキー指導者協会総会 ・決算額 1,516,099円 ・次回SIJカップは車山スキー場（22.4.4）開催予定 ・役員改選 会長 坂本祐之輔（埼玉） （本協会関係）顧問：毛利修三 副会長：坂井敏夫 常任幹事：藤島勝雄 幹事：中村啓二郎</p>																
<p>H21.9.13 ホテルノース シティ</p>	<p>平成22年度 定期代議員会及び加盟団体会長会議（59加盟団体 5,431名） ・出席代議員42名（うち委任状21名） ・HPサーバー会社交代 ・予算 一般会計5,804,336円 特別会計4,557,180円 ・役員改選 顧問 毛利 修三、小林 俊勝、福地 白 会長 坂井 敏夫 副会長 中村啓二郎、坂井 和夫、坂口 一弘、加藤 英二 監事 小栗 宏、遠藤 滋 特任理事 吉田 英一 理事長 藤島 勝雄 副理事長 西田 孝、三浦 光男</p> <table border="1" data-bbox="409 875 1398 1256"> <thead> <tr> <th>専門部</th> <th>部長</th> <th>副部長</th> <th>部員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務</td> <td>佐藤 秀志</td> <td>古川 英雄 安田 豊重</td> <td>高木 昌敏、登山 一成、大山 忠嗣、 杉山 重之、早川志津雄、前川 廣明</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>玉田 進</td> <td>成澤 清男</td> <td>輪島 祥司、井上 光男、高岡 正治、 佐藤 信一、斉藤 悟、飯塚 淳、 駒形 武志、岡島 謙俊、西出 博美</td> </tr> <tr> <td>広報</td> <td>中田 章</td> <td>山田 和広</td> <td>檜 満雄、岩瀬 均、北川 敏昭、 宮本 義夫、中村 昇太、金羽 秀、 角 秀</td> </tr> </tbody> </table>	専門部	部長	副部長	部員	総務	佐藤 秀志	古川 英雄 安田 豊重	高木 昌敏、登山 一成、大山 忠嗣、 杉山 重之、早川志津雄、前川 廣明	事業	玉田 進	成澤 清男	輪島 祥司、井上 光男、高岡 正治、 佐藤 信一、斉藤 悟、飯塚 淳、 駒形 武志、岡島 謙俊、西出 博美	広報	中田 章	山田 和広	檜 満雄、岩瀬 均、北川 敏昭、 宮本 義夫、中村 昇太、金羽 秀、 角 秀
専門部	部長	副部長	部員														
総務	佐藤 秀志	古川 英雄 安田 豊重	高木 昌敏、登山 一成、大山 忠嗣、 杉山 重之、早川志津雄、前川 廣明														
事業	玉田 進	成澤 清男	輪島 祥司、井上 光男、高岡 正治、 佐藤 信一、斉藤 悟、飯塚 淳、 駒形 武志、岡島 謙俊、西出 博美														
広報	中田 章	山田 和広	檜 満雄、岩瀬 均、北川 敏昭、 宮本 義夫、中村 昇太、金羽 秀、 角 秀														
<p>同上</p>	<p>加盟団体会長会議 ・「機関誌シュプールを全会員に行き渡らせるには」の情報交換</p>																
<p>H21.10.1</p>	<p>シュプール第37号 ・巻頭エッセイ「アマチュアからプロへの変換について」 会長 坂井 敏夫 ・主張・研究 2本 ・報告・特別寄稿 3本 ・地区紹介 5本 ・特集「第5回北海道マスターズ技術選大会観戦記」 ・随想 13本 ・北海道スキー指導者協会の歩み II ・指導者制度制定70周年記念 第22回北海道スキー指導者協会の集い・2009旭川大会 ・事務局だより</p>																
<p>H22.3.20</p>	<p>SIJカップ車山大会（H22.4.4開催予定）雪不足の為中止連絡</p>																
<p>H22.7.3 プラザトミヤ マ （上富良野）</p>	<p>第23回 北海道スキー指導者協会の集い・2010上富良野大会（参加者 80名） ・講演「木村流スキー理論とスキーから学んだもの」 富良野 木村公宣スキースクール代表 木村 公宣 （木村氏、「集い」2回目で前回とは観点を变えての講演）</p>																
<p>H22.8.8 ホテル芝弥生</p>	<p>平成23年度 日本スキー指導者協会総会 ・SIJカップ車山大会、雪不足で中止 ・決算額 1,907,250円</p>																

	<ul style="list-style-type: none"> ・次回SIJカップは蔵王（23.4.3）で開催予定 ・規約改正 指導員→指導者、常任幹事→理事、幹事→代表委員、監査→監事 都道府県が団体加入していない場合は、個人加入出来る。
H22.9.5 ホテルノース シティ	<p>平成23年度 定期代議員会及び加盟団体会長会議（57加盟団体 5,279名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席代議員43名（うち委任状21名含む） ・次年度集いは、石狩スキー連盟が主管 ・規約改正 理事定数 後志・道東の〈理事1名減〉 慶弔規定第2条 〈関係団体役員、各加盟団体会長〉を挿入 表彰規定第1条1 〈各加盟団体に〉を挿入 ・予算 一般会計（実質）5,235,714円 特別会計（実質）4,553,702円 （年度初め財源不足のため、特別会計から200万円を繰り出し・繰り入れ）
同 上	<p>加盟団体会長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「役員の高齢化に伴う各加盟団体の役員選考方法」について情報交換
H22.10.1	<p>シュプール第38号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭エッセイ「アマチュアスポーツの発展を願って」 会長 坂井 敏夫 ・NEWS「伊藤会長 キング オラフ トロフィを受賞」 ・主張・研究・検証 3本 ・地区紹介 3本 ・特集「北海道スキー連盟認定指導員要請講習検定会」 ・随想 15本 ・北海道スキー指導者協会の歩み III ・第23回 北海道スキー指導者協会の集い・2010上富良野大会 ・事務局だより
H23.3.10	SIJカップ蔵王大会（H23.4.3開催予定）震災の為に中止連絡
H23.7.2 ホテルシャト レーゼ	<p>第24回 北海道スキー指導者協会の集い・2011石狩大会（参加者100名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「私とスキー～元気の出るスキーを目指して」 SAJナショナルデモンストレーター 井山 敬介
H23.7.9 ホテルルポー ル麴町	<p>平成24年度 日本スキー指導者協会総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SIJカップ蔵王大会は、3月11日の震災により中止。 ・インタースキーサンアントン大会公式視察団18名参加 ・決算額 1,666,708円 ・次回SIJカップは、八方尾根スキー場（24.4.8）にて開催予定 ・役員改選（本協会分） 顧問：毛利修三 坂井敏夫 副会長：坂井和夫 理事：藤島勝雄 代表委員：三浦光男
H23.8.28 ホテルノース シティ	<p>平成24年度 定期代議員会（58加盟団体 5,215名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席代議員43名（うち委任状21名） ・次年度集いは、小樽スキー指導員会主管で本協会60周年記念事業と併催 ・規約改正 ①事業年度を9月1日→8月1日に変更 ②「規約施行に関する細則」の文章整理 ・予算 一般会計（実質）4,859,824円 特別会計（実質）4,503,376円 （年度始め財源不足のため、特別会計から200万円を繰り出し・繰り入れ） ・役員改選 名誉会長 坂井 敏夫 顧問 毛利 修三、小林 俊勝、中村啓二郎 会長 坂井 和夫 副会長 坂口 一弘、加藤 英二、藤島 勝雄、齋藤 信義 監事 小栗 宏、遠藤 滋

特任理事 吉田 英一
 理事長 三浦 光男
 副理事長 西田 孝

専門部	部長	副部長	部員
総務	佐藤 秀志	古川 英雄 安田 豊重	杉山 重之、登山 一成、高木 昌敏、 早川志津雄、大山 忠嗣、前川 廣明、 松山 幸博
事業	玉田 進	齊藤 悟	井上 光男、輪島 祥司、高岡 正治、 飯塚 淳、岡島 謙俊、駒形 武志、 西出 博美、野村 芳昭
広報	中田 章	山田 和広	樫 満雄、岩瀬 均、宮本 義夫、 中村 昇太、角 秀、山口 明久、 鍛冶沢 敏

同上

加盟団体会長会議
 ・各加盟団体の「特色ある行事」について意見交換

〈あしがき〉

4回に亘って掲載した「北海道スキー指導者協会の歩み」は一応終了します。一応と言いますのは、本協会が昭和27年に創立して来年で60周年を迎えます。その創立60周年記念事業を計画中です。その事業の一環として発刊予定の「北海道スキー指導者協会60年史」を以って、昭和14年、五色温泉での「指導者養成講習会」から書き起こした、「北海道スキー指導者協会の歩み」の私の役目は終了させていただきます。長い間お付き合いいただきまして有難うございました。（藤島）

〈参考資料〉

- ・北海道スキー指導者協会機関誌 シュプール第27号～第38号
- ・栗林薫著「北海道一般スキー八十年の歩み」（H 3. 8. 1 発行）
- ・柴田信一先生遺稿集（H 8. 1. 15 発行）